

令和 2年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実績報告書

区市町村名	多摩		
学校名	多摩市	立	南鶴牧小学校
1 事業目的	協議会名 南鶴牧小グリーンネットワーク委員会		

2020東京オリンピックのレガシーとして、ボランティアマインドを醸成し、自助・共助の気運を高め、地域の教育力向上を目指すために、校庭芝生の維持管理や地域に愛される芝生化校庭を担う中心としての南鶴牧小グリーンネットワークのさらなる活性化を目指すとともに、子どもが体を動かす喜びを味わえる環境を整備していくことを目指す。

2 主な取組と成果

芝生維持管理団体である本協議会(南鶴牧小グリーンネットワーク)の活性化を目指して、本協議会のブログほかに、南鶴牧小学校の学校ホームページで本協議会の活動や芝生活用についての広報を行った。その結果、以前芝生管理の仕事がされていた地域の方を新たに会員として迎えることができ、夏の長雨の期間の芝生管理に大きな力となった。また、保護者のボランティアの参加率が上がり芝生維持管理作業が活性化するとともに、保護者のボランティアマインド醸成の機会となった。ボランティア児童の参加は317人で児童のボランティアマインド醸成の機会となった。

本事業の資金的な援助を活用して、今年度は肥料散布機を購入し、4回の施肥講習会を実施した。また、昨年は実施できなかった芝刈り機メンテナンス講習会を12月12日に実施する予定である。これまで実施してきた芝生祭りは新型コロナウイルス感染拡大を受けて中止したが、芝生維持管理団体の定例会や芝生管理作業は感染症対策をしながらできる範囲で継続することができた。地域・保護者と連携した芝生維持管理作業が、本地域における1つの地域の共生・共助社会を形成することにつながり、東京オリンピックのレガシーとなるようにしていきたい。本年度も子どもが体を動かす喜びが味わえるすばらしい全面芝生校庭を整備することができた。

3 取組内容

芝生維持管理作業は4月～11月の毎週土曜日9:00～10:00を基本として実施している。作業内容は、芝生の上の清掃、芝刈りを中心としながら、施肥、雑草抜き、補植、砂入れ、散水、用具の準備・片付・整備、圃場整備、側溝清掃、芝生脇のサクラの剪定など多岐にわたっている。作業のリーダーは本協議会の主要メンバーである地域の野球クラブ・サッカークラブ、おやじの会が1週間ごとに交代して行い、父母と教職員の会の芝生担当世話人と各学級のボランティアが交代で作業を行っている。今年は新型コロナウイルス感染症拡大と夏の長雨のために各学級の分担は年間1回～2回となった。各回の時間は1時間。リーダーも作業する方も一部の方の負担が大きくなることを避けながら芝生維持管理作業を続けていくシステムをつくり上げている。手押しの芝刈り機を多くの方で交代しながら作業する方式をとることで、協力する気持ちが高まり、共生・共助社会を形成していくことに一役買っている。学級ボランティアによる芝生管理作業は12月までに12回、のべ大人484名、子ども317名が参加した。

施肥講習会を4回、芝刈り機メンテナンス講習会は12月12日に開催予定である。

児童に向けて「しばちゅん芝生作品大賞」を実施して昨年度募集した第7回の表彰式を実施した。今年度も2月に第8回目となる作品募集を行う予定である。



4 今後について

- 1 東京オリンピックのレガシーとしての地域の共生・共助社会に資するコミュニティーの1つとして、本協議会が持続可能な発展をしていくことができるように、また、地域の宝としての芝生校庭となるように保護者・地域に全面芝生校庭や芝生維持管理作業のよさについて、本協議会のブログや、学校だより、学校ホームページで広報する。
- 2 芝生応援キャラクター「しばちゅん」を活用しながら、全面芝生校庭や本協議会・学校の活動を地域の宝、かけがえのないものとして感じてもらえるようにしていく。
- 3 校庭芝生化13年目に入り、乗用型芝刈り機更新のための資金作りに至急取り組む。